

中学校区におけるめざす子ども像

思考力・判断力・表現力を育むとともに主体的に学び続ける子

堺市立 熊野 小学校

校長 八木 直亮

令和7年度 重点目標

急激に変化する時代の中で、学校教育には、一人ひとりの子どもたちが、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められている。

そのために、教職員は、教育への情熱、確かな指導力、信頼される人間力を備え、「チーム力」を発揮し、家庭・地域・関係機関と連携・協働しながら、総合的な学力・豊かな心・健やかな体を育む学習活動を通して、教育目標の具現化に努める。

確かな学びの現状

【学びに向かう力】

学習を大切なものと感じ、粘り強く、意欲的に学習を進めることができる児童が多い。しかし、言われたことに素直に取り組むことができる一方で、学びを自分事と捉え、自ら学び、調整して行うことができる児童は少ない。

【知識及び技能】

たしかな学力は着々と積み重ねることができている。特にけてぶれ学習などの取り組みにより、漢字の書きとりや読みは習熟度が高い。しかし、語彙力の乏しさや、数の量感には課題が見られる。

【思考力・判断力・表現力等】

ICTを効果的に活用したり、友だちと積極的に意見交流をしりながら、考えを深めることができる児童が多い。しかし、発展的な思考を必要とする問題の正答率が低く、課題が見られる。

豊かな心・健やかな体の現状

・新体力テストをもとに、課題を明確にして子どもたちの体力向上に向けて、授業改善をはかる。

・学びの診断では、「朝食」・「前日準備」・「家の人との会話」の項目は、比較的よい結果である。対して、「就寝時間」・「ゲームの時間」・「読書の時間」は、全般的に課題がみられる。休み時間での外遊びや、大なわ大会の実施など、体を動かす機会を増やしていく必要がある。

・仲間づくりや良いところみつけ、異学年交流などに取り組むことで自尊感情を高める必要がある。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況(年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	環境整備	教室環境を工夫・改善したり、児童との丁寧な関わり・指導を大事にすることで、どの児童でも安心して、学ぶことができる。	●児童の様子、指導の仕方について共有する。さらに各学級で教室環境を整えることで、落ち着いて学ぶことができ、わかりやすい環境づくりに努める。 ●低・中・高に分かれてブロック研修を行ったり、学校全体で取り組み交流を行ったりすることで、日々の実践改善に努める。	アンケート全般で肯定的な回答が80％以上	学校教育アンケート	3学期					
	授業改善	低中高それぞれの成長段階で、「自ら学習を進めることができる子どもの育成」に向けた授業改善・実践を行い、自立した学習者の育成を進めることができる。	●全学年が研究テーマに沿った研究授業を行い、学校全体で成果と課題を共有し、授業力を向上させる。また、全教員が年に1回以上の公開授業を行い、授業力の向上をはかる。 ●取り組みだ実践について、校内通信を発行したり、校内研修を定期的に行ったりすることで、授業力の向上をはかる。 ●全学年で「自立した学習者」に関わる意識調査を行い、その結果を集計する。さらに経年比較・分析を行い、数値の向上に努める。	全体会で報告、成果と課題について共有し、改善に繋げる。 各学年1回の研究授業、全教員の公開授業を計画的に行い、実践を共有する。 校内通信の発行、校内研修を計画的に行う。	実践報告	各学期 研修全体会					
					実践報告	3学期					
				アンケート全般で肯定的な回答が80％以上	学校教育アンケート	3学期					
豊かな心・健やかな体	豊かな心の育成	あらゆる教育活動の場で、豊かな人間性を育成する。(いじめの未然防止に向けた取り組みの充実)	内容項目・ねらいに沿った「特別の教科 道徳」の適切な指導を計画的・継続的に充実させる。 あらゆる教育活動の場において、子どもの自己肯定感や自尊感情を醸成し、自他の価値を尊重する意欲や態度を育成する。	教科書や、「未来をひらく」を効果的・計画的に活用する	実践報告	教科研修委員会 研修全体会					
				「自分にはよいところがある」で肯定的評価80％以上	学校教育アンケート	3学期					
			学級会・学級活動・なかよし班活動を充実させ、自他のよさを認めたり、異学年交流を深めたりすることができるようにする。	学級会、学級活動、なかよし班活動を通して、友だちのよさを認めることができる。	実践報告	人権研修委員会 研修全体会					
	体力向上	運動に親しむ環境を整え、体力を向上させる	運動やスポーツの楽しさを実感できる取組や授業の展開を行う。 早寝早起きチェックシートの活用、手紙での啓発を通して、基本的な生活習慣を身に着ける。	小学校体育指導の手引きを活用し、運動量を確保した授業づくりを行う。 毎学期すいみんチェックを行うことで、生活習慣の改善を図る。	実践報告	各月健康安全委員会					
地域協働	信頼される学校	学校情報の積極的な発信を行うとともに、地域とともに歩むチーム学校づくりを進める	学校ホームページ、校報等を活用し、教育活動の現状と成果の発信に努める。 地域たんけん等の地域学習に取り組み、地域を愛し、地域を誇れる子どもを育成する。	学校HPを更新し、校報を発行する。	学校教育アンケート等	3学期					
				「総合」「生活」等の学習で地域の良さを知る活動ができたか。	実践報告	年度末					
校長より(年度末)							学校関係者評価者から(年度末)				